






# 八和田小だより

【学校教育目標】 『さしい子・かるまで学ぶ子・くましい子』

## 《個別面談 ありがとうございました》

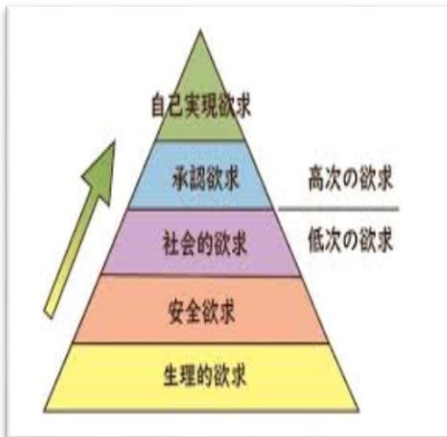
保護者の皆様には、5月16日から行われた個別面談にお忙しいところ、来校いただきありがとうございました。本日の午後で終了しますが、この面談を通して、保護者の皆様とお子様のことについて話しが聞けたことに、担任一同、そして管理職も安心することができました。面談でお話いただいたことは、これからの指導に生かしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 《学校と家庭の連携について》

先日ある研修会で、子供の成長についてお話を聴く機会がありました。その中で、改めて学校と家庭の協力が必要なことを感じるお話がありましたので、ここで書かせていただきます。

そこでは、アメリカの心理学者、アブラハム・マズローという人の「マズローの欲求5段階」について説明がありましたので、そのことをお話しします。

マズローの欲求5段階は簡単に言うと、下位の欲求が満たされなければ、上位の欲求が満たされないという内容です（左図）。



- 1 自己実現欲求とは、自分にしかできないことを成しとげたり、自分らしく生きたいという欲求
- 2 承認欲求とは、社会の中で個性を見出したり、所属集団で認められたいという欲求
- 3 社会的欲求とは、集団に所属したり、仲間を求めようとする欲求
- 4 安全欲求とは、安全安心な生活がしたいという欲求
- 5 生理的欲求とは、生きていくための本能的欲求

生理的欲求が満たされなければ、安全欲求も満たされない。安全欲求が満たされなければ、社会的欲求も満たされないという説明をされていました。では、それぞれの欲求を学校と家庭の場面で考えると次のような内容に置き換えることができます。（下位の欲求から述べさせていただきます）

- 生理的欲求・・・ご飯を食べる。十分な睡眠をとる。水分を取るなど。（生きる上で必要な最低限の欲求）
- 安全欲求・・・心身ともに健康でいたい。生命の危機がない。不自由のない生活がしたいなど。
- 社会的欲求・・・家族の一員として認められたい。学校・学級の一員となり安心感を得たいなど。
- 承認欲求・・・家族に褒められたい。先生や友達に認められたい。できなかったことができるようになりたいなど。
- 自己実現欲求・・・自分のイメージした理想の自分になりたい。社会の中で自立したいなど。

こうしてそれぞれの欲求を見ると、家庭と学校の役割が大きく子供の成長にかかわってくるのがわかります。子供たちには「早寝・早起き・朝ごはん」とよく話しますが、これは生理的欲求を満たすものです。【裏面に続きます】

この生理的欲求と安全欲求を満たすことは、家庭の役割が多くなります。そして上位の社会的欲求や承認欲求を満たしていくためには学校の役割も多くなってきます。

先ほど下位の欲求が満たされなければ、上位の欲求を満たすことができない、と書きました。学校で手を挙げて発表し、友達に認められても、ご飯を食べず睡眠不足で学校に来ていたら気持ちは満たされないのです。

家庭でご飯をしっかり食べ、よく眠ること。家族の一員として役割分担をして、できたら褒められること。そして学校で先生や友達に褒められ、認められ、それができて初めて自己実現ができるわけです。そういった意味で、やはり学校と家庭が連携していかないといけないと、改めて感じました。

### 〈個別面談で相談を受けたことを紹介します〉

個別面談で相談を受けた内容を校長が考えたものです。担任の先生からのアドバイスを優先していただき、何かの時に参考にさせていただければありがたいです。

#### ○質問1:翌日の準備は、どこまで手伝えばよいのでしょうか。

初めは、一人で準備をすることが難しいお子さんも多いかと思います。1年生は、忘れ物をすると、その日のモチベーションがとても下がってしまいます。慣れるまでは、おうちの人がいっしょに次の日の荷物を揃えてあげるといいと思います。最初のうちは、時間がかかるとは思いますが、そのうち必ず短くなります。

#### ○質問2:忘れ物が心配になり「これは入れたの?あれは?」と、ついつい口うるさくなってしまいます。

明日の準備をするときに、いちばん大切にさせていただきたいのは、次の日が楽しみになるような時間です。「明日、国語があるね。楽しみだね。」「算数はどんなことを習っているの?」など声かけをして、親子の会話ができる時間になるといいですね。

#### ○質問3:教科書は入れたのですが、ノートを忘れるというように、いつも何か一つ入れ忘れてしまいます。

100円ショップなどで売っているチャックのついた袋を用意して、国語セット、算数セットと分けておくのも一つの方法です。教科ごとにまとめておくと、何かを入れ忘れることを防ぐことができます。

#### ○質問4:ランドセルの中に、いろいろなプリントがたまっているときがあります。

おうちに、帰ってすぐにプリント等の紙類を入れられる箱を用意しておくとう便利です。

帰ってきたら、学校からのお手紙も仕分けせずに、まずそこに入れるようにすると、おうちの方もストレスがなくなります。

#### ○質問5:毎日使うもの(ナフキン、ハンカチ、ちり紙)を忘れやすいです。

毎日使うものを入れる箱を用意し、その中に入っているものはチェックしてランドセルに入れるというきまりをつくる、という方法もあります。ちり紙がなくなっていたら新しいものを入れる、一度使ったナフキンが入っていたら新しいものと交換するなど、子供がだんだんと自分でできるようになるといいですね。

#### ○質問6:体操着など、学校から持ち帰るべきものを学校に忘れてきてしまいます。

持ち帰るものがある曜日には、ランドセルの内側(時間割が入っている透明な部分)に、「たいそうぎ」「うわばき」などと書いたカードを入れたり、貼ったりしておく方法もあります。そうすると、子供が帰りの準備のときに、持ち帰るものを自分で確認することができます。

(参考:子ども理解の「そこ大事!」光村図書 川上康則)

※子育ては正解がないと言われていました。同じ家族の兄弟姉妹でも全く違い、親が思い描いた通りには育ってくれません。そして、私たち教職員も教える専門職ではありますが、日々指導に悩んでおります。お子様のごことで悩むことがございましたら、ぜひ担任や管理職等に相談してみてください。